

# 財政再建と 公共サービスの両立を

千葉市議会議員（花見川区） **三瓶 輝枝**



## ■議員活動の原点と現在の活動スタンスについて

私は千葉市に生まれ、千葉市の職員として学校現場で働いた経験を持っていますが、その際、職場において様々な問題があり、その解決に自分の経験を生かしたいと、組合活動に入り、役員も経験しました。職場の課題解決に向けて活動していくうちに、組合の推薦を受け、市議会議員に立候補し当選することができました。おかげさまで、議員活動は、5期20年目に入りました。現在は、民主党・連合議員団会議の一員として活動し、地域の困りごとを地域活動で解決する一方、より多くの人々の課題は、きちんと市議会での活動として、その解決を図っています。何よりも、私たちが生活している地域、まちの安全・安心で平和な社会を求めて活動しています。

## ■これまでの議会活動の主な取り組みについて

私の議員としてのライフワークとして、教育・社会福祉・地域の生活環境の改善等の諸課題の解決に向けた活動を行っています。

特に、教育現場で起こっている人的不足などの課題、そして少子高齢社会の中で生じている子育て支援や介護・在宅の医療問題、そして身近な生活の中から生じる様々な課題、例えば、街路樹の剪定や生活道路の整備・修繕・バリアフリー化などについて地域住民からの要望を大切にしながら、どのように解決すべきかを念頭において日々活動

しています。

議会の中では、環境経済委員会と市庁舎整備調査特別委員会に属しています。老朽化している市庁舎をどうするのかを巡って議論を重ねています。

## ■千葉市の財政の現状について

政令都市の中で、借金の元利金の返済の率がワーストワン、県内でもワーストランクに入る財政状況の改善が喫緊の課題です。政令都市移行に際して、インフラ整備、さらに区役所の建設など、多くの財政支出を行ったことなどがその原因と認識しています。

### 政令市移行に伴う主な施設整備等に係る市債発行額

主な施設	市債発行額
区役所	約50億円
保健福祉センター（中央区除く）	約110億円
モノレール	約250億円
中央第六地区（きぼーる）	約290億円
蘇我特定地区	約250億円
マリンスタジアム	約80億円
合計	約1,030億円

安全・安心のまちづくりのためには、機械的なサービスとは異なるソフトなサービス、不必要になった業務を指摘する一方で効率のみを追求する姿勢は改善すべきと、取り組んでいます。

公共事業で働く人の賃金について最低金額を守る「公契約条例」についても3回ほど質問をしま

した。最低賃金では生活を守ることは到底できないことや、入札により業者が変わったことによる雇用不安などについて質しました。財政規律を求めるのは良いのですが、その財政の締め付けが公共サービスの現場で働く者への締め付けになっていないか、野田市のように最低賃金に満たない部分は市が負担すべきではないかと質問をしました。残念ながら市の姿勢は最低賃金を守るとの範囲内での回答の域を出ていず、条例制定への気運は依然としてありません。

また、地方交付税などの財政問題に取り組んでいます。地方交付税については、H13からは全額予算措置されず、一部が市の借金（臨時財政対策費）を作らせて、千葉市には約200億円の臨時財政対策費の残高があり、後に交付税として基準財

政需要額に反映されると言われるものの、国が自治体に責任転嫁しているように見えます。この点を議会で取り上げ、臨時財政対策債の利用度の改善を求めますと、市からは国に対し地方への税配分の改善の要望を続けるとの回答がありました。

特に、地方交付税の中で、特別支援学級費用、私立幼稚園などでは、基準財政需要額に基づき措置された予算額が実際は全額がつかず、その一部が一般財源として他のところに流用されているのではないかと質問をしましたところ、市では特別支援学級の支援員などはできる限り、計画に盛り込んで強化していくとの答えを得ました。

今後も千葉市の財政健全化と公共サービス充実の両立を課題にして議会活動に取り組んでまいります。

(表2 交付税と臨時財政対策債の推移)

<単位 億円>

年度	基準財政需要額	基準財政収入額	標準財政規模	歳入総額	歳出総額	交付税①	臨時財政対策債②	合計①②
12	1,517	1,411	1,976	3,492	3,418	115		115
13	1,505	1,415	1,965	3,453	3,374	89	51	140
14	1,452	1,382	1,901	3,404	3,333	69	111	180
15	1,379	1,327	1,808	3,515	3,445	50	207	257
16	1,362	1,333	1,794	3,492	3,436	29	148	177
17	1,385	1,348	1,812	3,605	3,564	37	113	150
18	1,407	1,416	1,856	3,508	3,484	0	105	105
19	1,400	1,448	1,902	3,634	3,597	0	95	95
20	1,415	1,453	1,992	3,260	3,237	0	89	89
21	1,384	1,385	1,950	3,580	3,567	0	138	138
22	1,369	1,326	2,000	3,715	3,705	42	225	267
23	1,405	1,317	2,042	3,708	3,676	88	237	325
24	1,417	1,342	2,023	3,716	3,697	74	198	272

事業名	基準財政需要額にどのように反映されているか答弁	施策の特徴点
私立幼稚園	25年5月1日時点の1万5,544人を公立に算入すると59億円となります。私立幼稚園は0円。公立幼稚園しか需要額に反映されません。	千葉市は私立幼稚園に対し12億円程の補助金を出しています。千葉市の子供には変わりありませんので、もっと出してもいいはずですが。
特別支援教育支援員	算入額は2億7,000万円となっていますが、業務内容や勤務条件等が不明で千葉市の指導員と同一に考えることはできないため、これに相当する予算額を見込むことは、困難です。(困難と答弁しているにも関わらず、実際には、算入されています。実際の予算は数千万円ですもの)	平成16年度に本市が国に先駆けて特別支援教育指導員を配置し市の単独事業として開始しました。平成19年度に、国は後追いで特別支援教育支援員の地方財源化を図ったため名称が異なっています。指導員は支援にとどまらず、教育的な指導を目的としているため、あえて指導員としています。(サービスの内容が違い、保護者も教職員も困っています)